

まち・ひと・しごと市民ワークショップ『ずっと住み続けられる五泉にするには？』のまとめ

■作成
五泉市企画政策課

■ワークショップの開催概要

目的	第2次五泉市「地方人口ビジョン」「地方版総合戦略」の策定にあたり、広く市民の方から意見をお聞きすること。		
日時	令和元年6月10日(月) 18:00~20:00	会場	五泉市福社会館 3階 大会議室
参加者	13名(働き世代・移住者)		
内容	説明	①ワークショップの流れと目的、②五泉の人口動向、市民アンケート&転入者アンケートの結果紹介、③総合戦略の施策・事業の実施状況	
	意見交換	『ずっと住み続けられる五泉にするには？』 ①働き世代を取り巻く五泉の今、②五泉で住み続けるには？	



写真：会場全体

■意見交換の結果【仕事・家族】

現状の五泉での暮らしについて、「良いところ・良かったところ」、「不安・不満なところ」を4つのテーマ(仕事・家族・住まい・地域)ごとに話し合いました。その後、五泉で住み続けるための具体的な対策・新たな提案を話し合い、五泉市の新たな将来像(キャッチフレーズ)を出し合いました。

凡例：●A班の意見 ◆B班の意見 ■C班(移住者)の意見

テーマ	第1ラウンド：働き世代を取り巻く五泉の今		第2ラウンド：五泉で住み続けるには？
	良いところ・良かったところ	不安・不満なところ	具体的な対策・新たな提案
仕事	就業環境 健康	<ul style="list-style-type: none"> ●雇用が少なく職場に同期がない ●託児所付きの会社がない ●仕事(農家)で体が難儀する ●農業は天候等により収入が不安定 	<ul style="list-style-type: none"> ●従業員の住まいもセットにした企業誘致 ■廃校を利用したオフィス環境の提供 ◆就職サイトの活用(市が仲介となって取りまとめ、広告を行う) ■IT産業の育成に向けて、子どものうちからプログラミング講習→起業を支援する ■大企業の誘致は難しいため、小規模を多数誘致する
	就職 転職 学業	<ul style="list-style-type: none"> ●中小企業が多く、賃金ベースが低い ●企業が正社員雇用に積極的でない ■織物産業が縮小した ■働く場所がないかも ◆情報提供がうまくできていないので市内の就職先がわからない ◆専門学校を出てもその分野に合う職場がない 	
家族	医療 出産	<ul style="list-style-type: none"> ●出産の場所がない ■産婦人科が無いため子どもが産めない ◆医療機関が偏っている(産婦人科がなく、歯医者が多い) ■小児科が少ない ●耳鼻科混みすぎ 	<ul style="list-style-type: none"> ●出産で助成金があると嬉しい ◆「多産」をうたうなら産婦人科を作ってほしい ◆Uターン・Iターンと同じように、来て欲しい科の開業先への補助金対応など医療誘致を行う
	子育て 介護	<ul style="list-style-type: none"> ◆核家族は各地域に比べて少ないかも(親と同居が多い) ●にこパスは嬉しい 	<ul style="list-style-type: none"> ■移住者のターゲットをしばって手厚く支援する(仕事を五泉に持ってこられる人で、介護が必要な家族、子連れ家族などに向けて、抱える問題を一発で解決できる移住パッケージを提案する)
	出会い 結婚	<ul style="list-style-type: none"> ■未満児が年度途中だとなかなか保育園に入れない ◆保育園が入りにくかった ■子どもへの流行ものの説明が難しい(入手できない) ■彼氏彼女なしが多い 	

意見交換の結果【住まい・地域】

凡例：●A班の意見 ◆B班の意見 ■C班（移住者）の意見

テーマ		良いところ・良かったところ	不安・不満なところ	具体的な対策・新たな提案
住まい	住宅 空き家	<ul style="list-style-type: none"> ◆住宅の補助金があった ●新しい団地が増え、同じ世代・境遇の人がいて安心(集落地のコミュニティには入りづらい) ■水がおいしい 	<ul style="list-style-type: none"> ●家賃が高い ●今後の実家の空き家化が不安 ■空き家情報が整理されていない(市HPでは2軒しかない。もっとあるはず) 	<ul style="list-style-type: none"> ●住宅購入以外の補助金が欲しい(例えば薪ストーブが補助金とか) ●五泉市民だけの特権を増やす(絹乙女を安く食べられる、温泉施設の利用など) ■空き家(古民家・井戸付き)を流通させる ■空き家が多い地域では、移住者同士が交流を深め、新たなまちづくりを行える移住者団地をつくる
	買い物	<ul style="list-style-type: none"> ◆買い物は大体の物は市内ですむ 	<ul style="list-style-type: none"> ●商店街の元気がない(中心市街地) ◆衣料品を買う店がない ■服屋が少ないため、新潟に買い物へ行く。若い女性が減る要因でもある ◆店を選べない ◆若者が集まる場所が少ない、デパートなど ◆スーパーやコンビニは多いけど大型のデパートなどが無い ●メインのレジャー施設・娯楽がない、中途半端 	 
	交通 (道路)	<ul style="list-style-type: none"> ■道路が空いていて安全 ■平地が多く、自転車でも問題ない(雨、雪のそく) 	<ul style="list-style-type: none"> ■買い物に行くのに車がないと不便 ●道路が狭い、傷みすぎ ●消雪パイプが少ない ●新潟市につながる道が欲しい ●高速道路の利用が不便(三条と安田の間) ■高齢者のシートベルト違反が多く、交通事故死が多い 	
	公共交通		<ul style="list-style-type: none"> ◆交通の便が不十分である(バスがまわる範囲が限定されている) ◆公共交通が少ない(バスがあっても乗りにくい・分かりにくい) ■バス、電車の本数が少ない ■運転免許返納後の移動方法に不安(バスの乗り方がよくわからない) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆バス等の交通機関を増やす(特に川東) ◆公共交通が住みにくい理由の上位だが、さくら号等を導入してから、振り返り作業はしているのか? ◆バスの範囲拡大(朝と夕だけでも広範囲の運行を行う) ■公共交通の使い方をPRしてほしい(時刻表配布だけではNG)
地域	観光資源	<ul style="list-style-type: none"> ●自然が多い ●山・川がある、遊べる ■自然が近い、山、川 ◆自然が豊か、水がおいしい ■どこでも水がおいしい ◆自然が豊か(静かな暮らしや観光面で良い) 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもが遊ぶところが少ない(横越公園、亀田公園などがうらやましい) ◆遊びに出かけたいと思う公園などが少ない(遊具が少ない、草が生い茂っている) ●観光地が少ない(五泉といえば感があまりなく、資源が中途半端) ●観光は通年で楽しめない 	<ul style="list-style-type: none"> ●①よこごし公園のような公園をつくる、②特産品(里芋など)のB級グルメ開発→①②を複合施設(建設中)と牡丹園付近で連携 ◆公園の草刈りなど、環境整備をしてほしい ◆水芭蕉、ボタン、チューリップなど、人が集まる場所に公園、飲食店などをつくる ◆観光で、花-温泉-食事など点と点を線にする ●行政が行う農業体験があったらいい ●スポーツ施設の連携(野球場と宿泊施設を利用した合宿や大会)
		<ul style="list-style-type: none"> ■個々の団体には力があり、意外と年間通してイベントがある 	<ul style="list-style-type: none"> ■市民の方のまとまりがない(五泉と村松と一緒にイベントをやらないなど) ■開催イベントに団体間のつながりが少なく、情報を受けただけ(開催を知らないことも多い)。情報発信、スタッフ確保含めもったいない ■ごせん桜アロマ工房が十分に活用されていない。通年でもっとできるはず 	<ul style="list-style-type: none"> ◆五泉&村松がタッグを組んで観光に力を入れる ◆特産物を販売したり、五泉産の作物を使った料理を提供できる施設など観光地となる場所をつくる ■里いも麺を市内の飲食店ならどこでも食べられるようにできないか
	防災	<ul style="list-style-type: none"> ◆自然災害が少ない ◆災害が少ない 		<ul style="list-style-type: none"> ■防災以外の各種PRに防災無線を活用できないか
	地域行事 交流	<ul style="list-style-type: none"> ◆昔から続く祭りがある ●人情があり温かい ◆昔からのなじみの関係がある ■仲良くなると皆親切(最初はよそ者扱い) ■生活のルーティンが安定し、出費が減った 	<ul style="list-style-type: none"> ◆祭りの後継者が少ない ●新規居住者には、どこに何があるかわからない 	<ul style="list-style-type: none"> ◆教育と結びつけながら、世代を超えて交流できる機会や場所を作る ●転入時にパンフレットなどがあると良い(例えば、飲食店・医者) ■移住者向けの「五泉あるある」をまとめ、地域に馴染みやすくする
PR	<ul style="list-style-type: none"> ■名物があることはある(里いもなど) ■変な習慣も◎(挨拶が「ごめんください」、どうぞが「お願いします」など) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆特産品のPRができていない(市民でも分からない、馴染みがない) ■まず、外の人が五泉市を知らない。情報発信が下手 	<ul style="list-style-type: none"> ◆五泉の良いところを探してPRする ◆いろんな手段でPRする(パンフ、新聞、広告、インターネットなど) ■市民と行政の意見交換の場をもっと設け、市民の意見が吸い上げられる仕組みをつくる(すぐやる課など) ■イベントを広聴の場として、市民からのレスポンスを! 	

五泉市の新たな将来像
(キャッチフレーズ)

●現状のままで良い「ごせんで育ち、ごせんが育つ」 ◆「みんなで創る やさしい五泉」 ■「五泉にわくわく」